

第十次金ケ崎町総合発展計画(概要版)

将来像

人と地域が支えあうまち 金ケ崎 ～連携と協働のもと、今もこれからも住みたい町、住んで良かったといえる町の実現～

計画期間

平成28年度 ～ 平成32年度
(10年後(平成37年度)を目標年次と定めた5年間の計画)

現状と課題

1 人口減少社会への突入

- ・合計特殊出生率は低下を続けていることに加え、若い女性の流出により出生数自体が減少傾向にあること
- ・高齢者人口は、2025年まで増加を続け、その後減少に転じるものの、若年層の人口は減少を続けることから、高齢化率は上昇する傾向にあること

2 産業の動向

- ・若年層の不安定雇用や経済的格差の拡大、経済のグローバル化による国際間・地域間の競争が激しさを増していること
- ・新たな産業分野の誘致等、安定した雇用の拡大を図る必要があること
- ・農業では、農業従事者の高齢化など農業経営は厳しさを増しているため、農業所得の向上や担手の育成が課題となっていること

3 環境問題

- ・地球温暖化等の地球環境問題への対応、エネルギー需要の拡大等を背景とした再生可能エネルギーの拡大など、エネルギー政策の転換が求められていること
- ・金ケ崎町の恵み豊かな環境を後世に継承するため、循環型社会の形成、地球温暖化対策、生物多様性に配慮が必要となっていること

4 情報通信技術の革新

- ・ICT分野の進歩、ソーシャルメディアの普及など情報通信技術が進む中、当該技術の有効活用が重要となるとともに、併せて、情報セキュリティ対策など、情報管理への適切な対応が求められていること
- ・地域における情報の不均衡解消と情報通信システムを活用した行政サービスの維持・向上が必要となっていること

5 最重要課題(人口減少問題)への対応

- ・近年、約16,000人を維持していた人口が、国立社会保障人口問題研究所の推計によれば、2040年には13,645人と大きく減少することが予想されている。
- ・人口減少は、地域経済の停滞や地域の活力の低下、さらには、福祉や教育などさまざまな課題に繋がることから、人口減少への対応が喫緊の課題

平成37年(2025年)の目標人口(※) **15,300** 人

(※)「金ケ崎町人口ビジョン」による目指すべき将来の人口を踏まえた目標人口

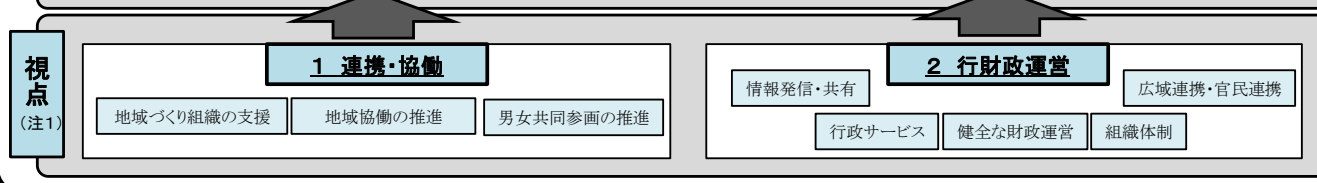
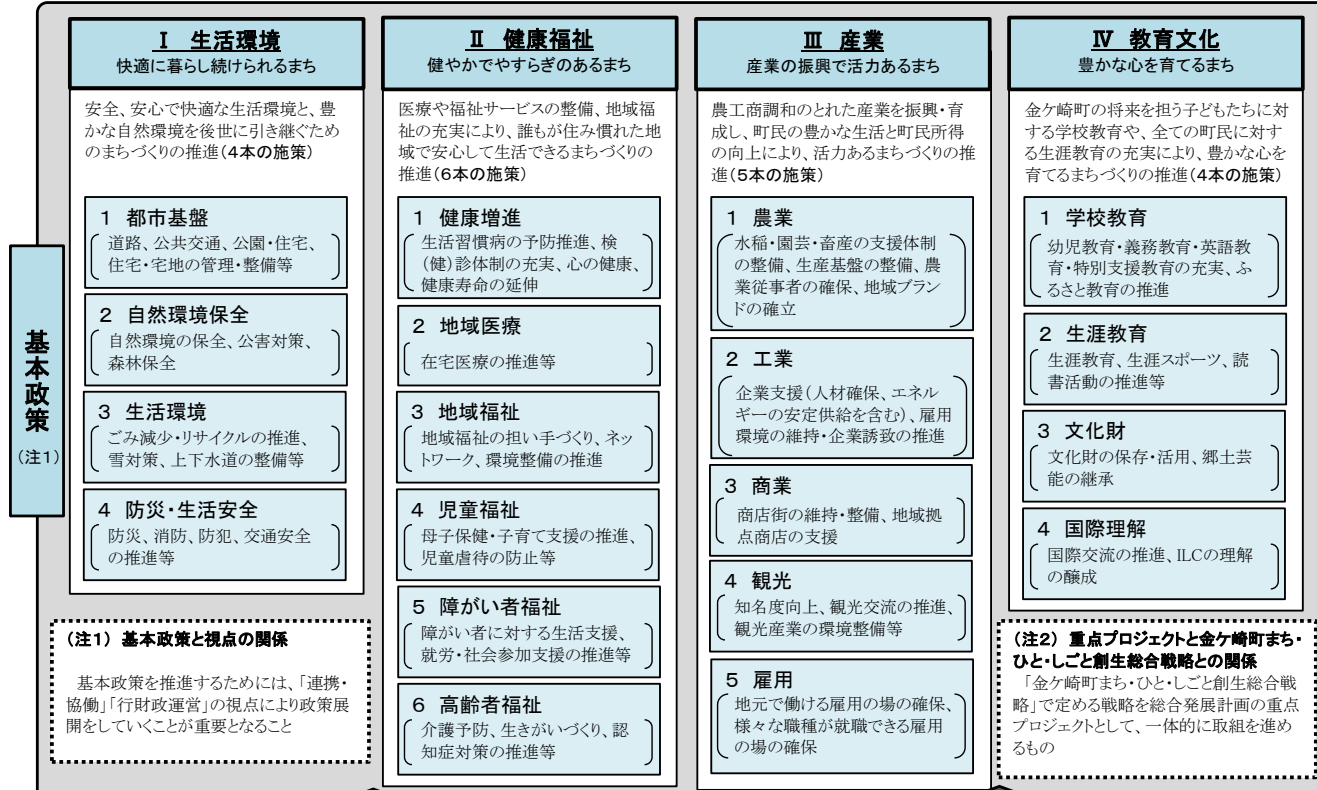
【金ケ崎町人口ビジョンにおける目標人口とその考え方】

- ・人口ビジョンについては、期間を2060年までとして設定することとされていること
- ・金ケ崎町人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率を 2.07(国、岩手県と同様)とするとともに、社会動態の改善を目指すこととして目標人口を次のとおりに設定しているところ。

	2020年	2025年	2040年	2060年
目標人口	15,700人	15,300人	14,000人	12,000人

目標達成 ⇒ 金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開

将来像実現のための対応方針(4本の基本政策と2つの視点)



重点プロジェクト(金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略) (注2)

